

講義名	ブライダルコーディネーション論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	BRL180

主題と概要
日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定アソシエイトブライダルコーディネーター検定（以下ASS）及び、国家検定ブライダルコーディネート技能士3級取得を目指し、ブライダルの基礎知識を学びます。 日本における結婚式・披露宴の成り立ちを知り、ウェディングプランナーの業務に必要な基礎知識を修得します。実際に、ホテル・式場の施設見学や第一線で働く担当者の経験談などから、儀礼の意味づけやブライダルビジネス（マナー）の存在意義を考察します。 日本の結婚式は、1980年頃までは神前式が主流でしたが、1990年代後半に、キリスト教結婚式移行し、一時は、日本の結婚式の70％近くはキリスト教結婚式となりました。しかしながら、日本のキリスト教の信者は1％にも満たず、自身の信仰と婚姻儀礼が一致しない状況に対し、疑問を抱くカップルも少なくありませんでした。また、多様な生き方が許容される社会となり、自身の生き方や価値観を表現した「オリジナルウェディング」の人口が高まる中で、余剰色が無く、自由な進行が可能な人前結婚式の人気が高まっています。人前結婚式を行うには、一組一組のカップルの個性を表現するために、深いヒアリングが必要になります。また、オリジナルなセレモニーを生み出す発想力や提案力が、プランナーに求められます。 そこで、この授業では、モデルカップルに基づいて、オリジナルの人前式のプランニングとプロデュースの実演を行います。チームを組み、各チームのディスカッションによって、オリジナルな演出を創造します。また、プロデュースするためには、発想力だけでなく、それを的確に運用するための知識と提案力が不可欠です。施設の構造と、働く人々の実体験を学びます。その後のグループワークで、各チームのアイデアを生かした人前式をプロデュースします。学内でのコンテストの結果、最優秀チームが、実際に結婚式場のチャペルで模擬結婚式を行い、その他の人たちは、ゲストとして模擬結婚式に参加します。ゲストの目録で、再検証します。このような、模擬人前結婚式プロデュースを通して、学んだ知識を活用することができ、仲間と協働する力を高めることができます。

到達目標
この授業をとおして、下記目標達成を目指します。 1. ブライダルに関する用語を身に付け、活用できる。 2. 日本における結婚式・披露宴の成り立ちを理解し、基礎知識を修得する。 3. チャペルなどの施設体験から、ブライダル業界の現状を知り、マナーを身に付ける。 4. 模擬人前結婚式のプロデュースを通して、発想力、発信力、チームコミュニケーション能力を高めることができる。 5. 配偶者の選択や婚約・結婚式を通して、社会や人々の価値観の変化を理解できる。

提出課題
キャンパスクロスをととして、課題を提出してください。 1 平常レポート： グループワークで取り組んだテーマについての振り返りと、自分の視点での考察です。 2 期末レポート： 人前式プロデュースをとおして得た知見を整理して、次の課題を検討してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
次週の授業内でフィードバックしますので、グループワークで情報共有し、さらにディスカッションを深めてください。

評価の基準
平常レポート 40％ 人前式プロデュースレポート 60％ 毎回の課題への取り組みは、授業への積極的な参加と同義とみなし、その内容を重視します。授業外学習課題の内容は、各自が採集、選択した事例に対する考察レポートを1回提出していただきます。授業中の私語や飲食（水分補給やのど飴を除く）などは、周囲の人々にとって迷惑な行為を発見した場合、教室を退室していただきます。その場合、当該授業は欠席となります。

履修にあたっての注意・助言他
ASS検定合格には、ブライダルコーディネーション、及びブライダル事業論を履修し、知識を修得することが必要です。ブライダル情報誌やSNS、あるいは、身近な人の体験からブライダルの情報を収集することを心がけてください。施設見学などの機会には、ホテル・ブティックやグルメのマネー系書に当たった装束や髪型で参加し、その場に相応しい立ち居振る舞いや言葉遣いを心がけてください。模擬結婚式のプロデュースでは、自分の役割に応じた責務を果たしてください。

修正にあたっての注意・助言他

備考
模擬結婚式のために施設に赴く交通費は自己負担となります。また、模擬人前式の実施日は、会場の都合により通常授業と異なる日時になる場合があります。また、それによって、シラバスの順序を組み替えることもあります。

その他
リクルート、ブライダル検定公式HP https://souken.zexy.net/ 日本ブライダル文化振興協会公式HP https://www.bia.or.jp/ 厚生労働省人口動態統計 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html

授業計画
授業計画 第1回：法律婚と婚姻儀礼 DVDを活用して結婚式を概観し、婚姻儀礼の意味を考える。 予習内容：テキスト16・19を講読し、論点について検討したうえで講義に臨む（120分）。 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業への理解を深めること（120分） 第2回：結婚式の種類 現代の日本で一般的に行われている結婚式の概略を知る。 予習内容：授業で指定されたテキストの該当ページや資料を講読し、論点について検討したうえで講義に臨む（120分）。 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業への理解を深めること（120分） 第3回：結婚式の種類、オリジナルウェディングと人前式 カップルの物語、を実現する多様なセレモニーと、それを創造するプランナーに求められるスキルについて、動画などをとおして理解する。 予習内容：授業で指定されたテキストの該当ページや資料を講読し、論点について検討したうえで講義に臨む（120分）。 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業への理解を深めること（120分） 第4回：人前結婚式のプランニング 結婚の型にとらわれず、表現する様々なセレモニーと、それらを組み合わせた進行の組み方を習得します。 予習内容：授業で指定されたテキストの該当ページや資料を講読し、論点について検討したうえで講義に臨む（120分）。 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業への理解を深めること（120分） 第5回：人前結婚式のプロデュース：プランナー・アテンド・司会・音響などの業務 DVDと基本の進行表を使ったレクチャーにより、各役職の動き方を知る。 予習内容：授業で指定されたテキストの該当ページや資料を講読し、論点について検討したうえで講義に臨む（120分）。 復習内容：講義ノートを整理・復習し、授業への理解を深めること（120分） 第6回：人前式プロデュース：模範・台本制作・アイテム制作 モデルカップルのプロフィールを表現したオリジナル演出を考案し、進行を組む。 予習内容：グループワークで扱った課題について、情報収集・整理・課題制作を行う。（120分） 復習内容：グループワークで決定した内容を精査し、問題点を確認し、円滑に作業が行えるようにタスク整理を行う。（120分） 第7回：人前式プロデュース：BGHと司会コメント BGHを生かした演出効果と、司会、音響、プランナーとアテンドの連携を学ぶ。 予習内容：グループワークで扱った課題について、情報収集・整理・課題制作を行う。（120分） 復習内容：グループワークで決定した内容を精査し、問題点を確認し、円滑に作業が行えるようにタスク整理を行う。（120分） 第8回：人前式プロデュース：演出・台本制作・アイテム制作 進行表に合わせてBGHを演出し、台本を作成し、結婚証明書など、演出に必要なアイテムを制作する。 予習内容：グループワークで扱った課題について、情報収集・整理・課題制作を行う。（120分） 復習内容：グループワークで決定した内容を精査し、問題点を確認し、円滑に作業が行えるようにタスク整理を行う。（120分） 第9回：人前式プロデュースを中心に、自主的に小物制作と進行練習をする。 予習内容：グループワークで扱った課題について、情報収集・整理・課題制作を行う。（120分） 復習内容：グループワークで決定した内容を精査し、問題点を確認し、円滑に作業が行えるようにタスク整理を行う。（120分） 第10回：人前式プロデュース 各チーム通し練習 スムーズな進行為けようように、コンビネーションを図る。 予習内容：グループワークで扱った課題について、情報収集・整理・課題制作を行う。（120分） 復習内容：グループワークで決定した内容を精査し、問題点を確認し、円滑に作業が行えるようにタスク整理を行う。（120分） 第11回：人前式プロデュース 各チームリハーサル リハーサルを行い、改善点を挙げ、ブラッシュアップする。 予習内容：グループワークで扱った課題について、情報収集・整理・課題制作を行う。（120分） 復習内容：グループワークで決定した内容を精査し、問題点を確認し、円滑に作業が行えるようにタスク整理を行う。（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習） イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ○ウ：ディスカッション、ディベート ○エ：グループワーク ○オ：プレゼンテーション ○カ：実習、フィールドワーク キ：その他（Aし型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
この科目は、ブライダル関連企業での就業に必要な知識を学び、ASS及び、国家検定合格へ導くものです。ホテル・式場で従事するビジネスパーソンとの交流や模擬人前式プロデュースを通して、マナーやコミュニケーション能力、提案力、組織運営力を養うことは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
テキストの内容に基づき情報収集したうえでのディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を得ることができます。
実務経験の有無及び活用
実務経験あり。（公社）日本ブライダル文化振興協会任命、ブライダルコーディネーター職種技能検定・指定試験機関技能検定委員、ブライダルプロデュース会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成に携った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考
模擬結婚式のために施設に赴く交通費は自己負担となります。また、模擬人前式の実施日は、会場の都合により通常授業と異なる日時になる場合があります。また、それによって、シラバスの順序を組み替えることもあります。